

「スポーツランド燕 野球場」 改修事業に対する寄附のお願い

地方創生応援税制「企業版ふるさと納税」の活用

新潟県燕市

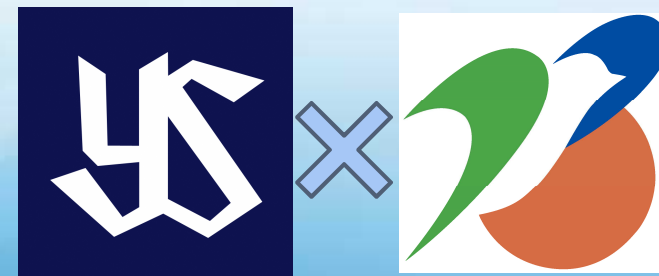
東京ヤクルトスワローズと燕市の交流

交流のきっかけ

平成22(2010)年に新潟県観光協会が「うまさぎっしり新潟」観光展を神宮球場のヤクルトVS巨人戦で開催し、燕市が地元産コシヒカリ「飛燕舞」を販売したところ、「燕(=スワローズ)が大空を高く舞うイメージで縁起がいい」とスワローズファンから評判になり、予想を超えた売れ行きとなったことから、さまざまな交流事業に発展。

交流実績

- ① 東京神宮リトルシニアの夏合宿を燕市内で実施(H23~)
- ① スワローズ現役・OB選手による少年野球教室を開催(H23~)
- ① 4都市による「スワローズカップ少年野球交流大会」を開催(H25~)
- ① 「つば九郎米」などコラボ商品を多数発売(H23~)
- ① 燕市内企業から「ヒーロー賞」を提供(H24~)
- ① 神宮球場で「燕市DAY」を開催(H27~)



「スポーツランド燕」の概要

- 敷地面積 約100,000m²(東京ドーム2個分)
- 平成6(1994)年竣工
(屋内練習場は平成22(2010)年竣工)
- 野球場(センター122m、両翼98m)
- 体育館(バスケットボールコート2面)
- 多目的競技場(400mトラック、ソフトボール場2面、サッカー場1面)
- 多目的広場(サッカー場1面)
- 屋内練習場(1,285m²)



野球場は毎年「東京神宮リトルシニア」が夏合宿で利用
来年、4年ぶりに「スワローズカップ少年野球交流大会」を開催

スポーツランド燕 野球場改修事業

改修の趣旨

🔄 平成6(1994)年の建設から20余年が経過し老朽化が進行

🔄 大会等の開催には付帯施設が貧弱



🔄 来年の「スワローズカップ」開催に向けて施設の機能拡充・改修工事を実施予定



工事内容

- ① 選手収容人数を増やすためのダッグアウト拡張
- ② 大会等イベント開催に必要なフラッグポール設置
- ③ 防球性能を高めるバックネット改修

工事費

2,200万円(予算額)

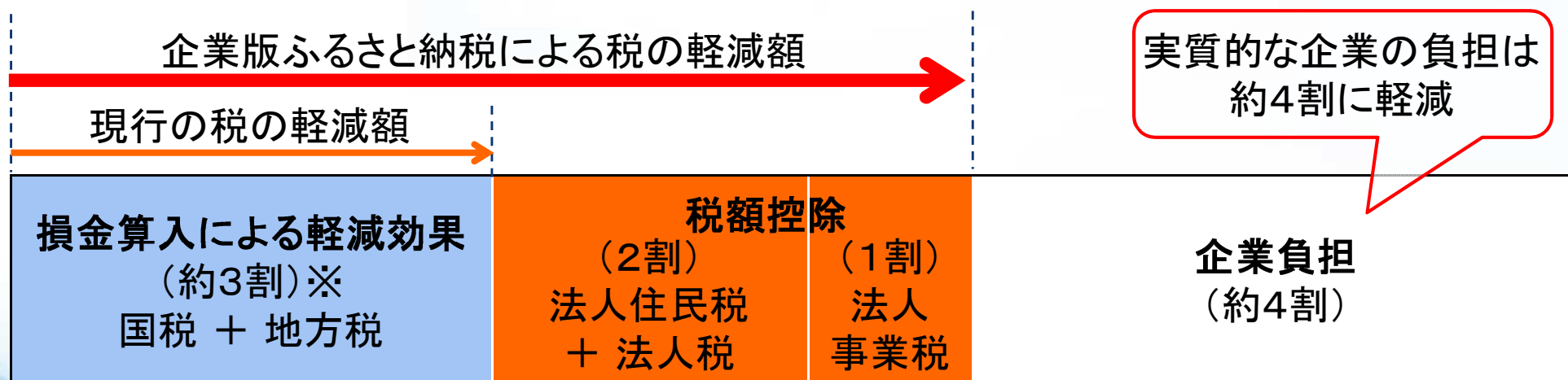
施工時期

平成29年12月～平成30年3月(予定)

地方創生応援税制「企業版ふるさと納税」

制度のポイント

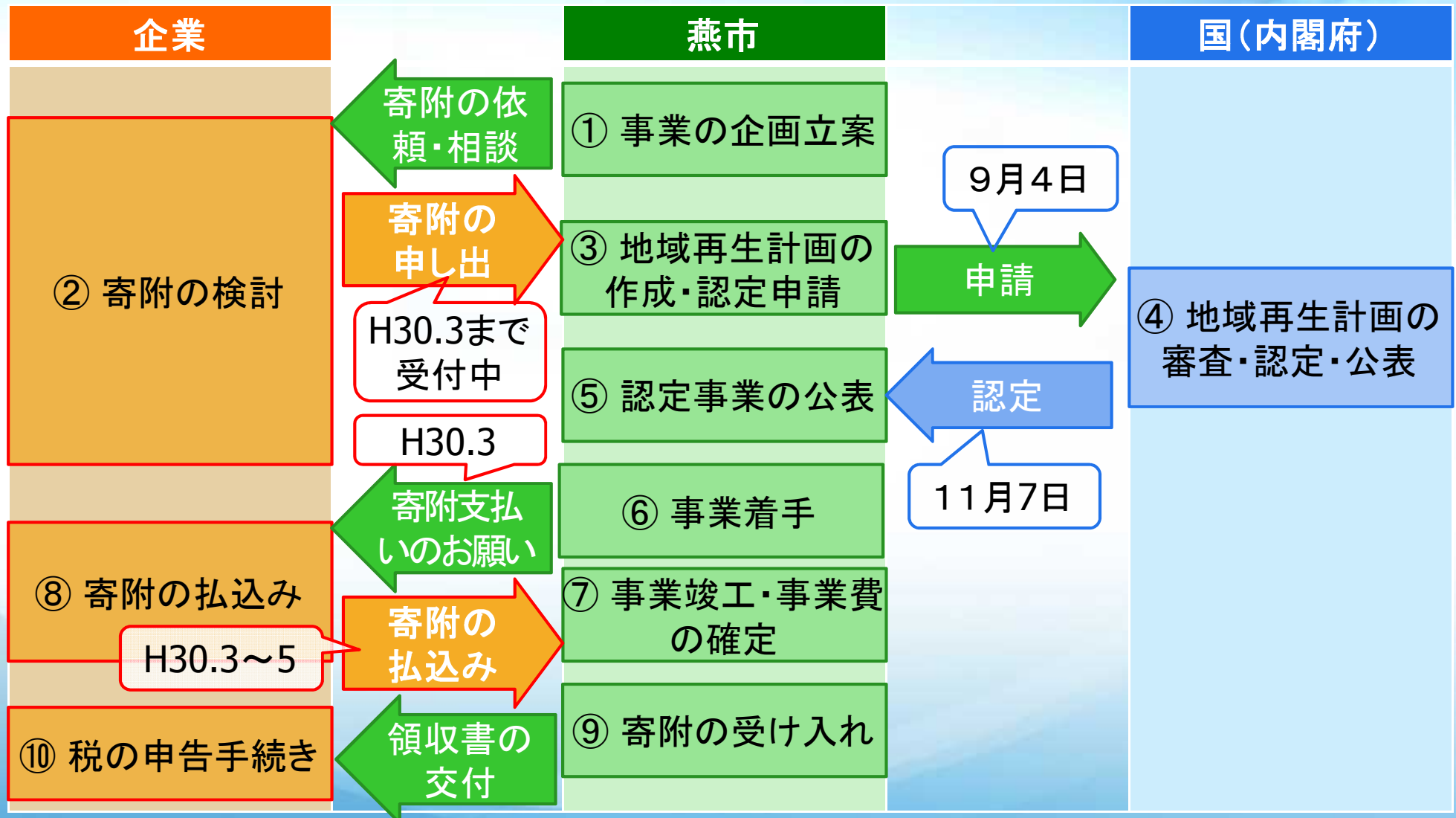
- 平成28年度税制改正で、地方創生応援施策として、ふるさと納税を企業でもできる仕組み(寄附金に対する税制上の優遇措置)を創設
- 企業の寄附に係る税負担の軽減効果が2倍に



※ 企業が地方公共団体に寄附する場合は、その全額が損金算入されるため、寄附額の約3割(法人実効税率)相当額の税の軽減効果がある。

- 1回当たり10万円以上の寄附が対象

手続きの流れ、スケジュール(見込)



ご寄附を頂戴した企業様には

- 寄附企業名ネームプレートの設置
 - マスコミ等パブリシティを通じた広報PR活動等を予定しております。
- 野球やスポーツの振興・発展のため
 - 青少年の健全育成のため
 - 社会貢献による企業イメージ向上のため



「スポーツランド燕 野球場」改修整備事業
に対してご寄附を賜りますよう
よろしくお願い申し上げます

新潟県燕市長 **鈴木 力**

※ 内閣府令によって、法人に対し、寄附を行うことの代償として経済的な利益を供与することは禁止されています。